

共同利用実施報告書(研究実績報告書)  
(研究集会)

1. 課題番号        2014-W-07

2. 研究集会名 (集会名の英訳もご記入ください)

和文: 火山現象のダイナミクス・素過程研究

英文: Studies of volcanic eruption dynamics and processes

3. 研究代表者所属・氏名 地震研究所・鈴木雄治郎

(地震研究所担当教員名) 鈴木雄治郎

4. 研究集会参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	旅費支給の有無
鈴木雄治郎	地震研究所・助教	無
服部康夫	電力中央研究所・研究員	無
橋本明弘	気象研究所・主任研究官	無
福井敬一	気象研究所・室長	無
齋藤務	室蘭工業大学・教授	無
Srisha M. V. Rao	室蘭工業大学・博士課程	有
入山宙	九州大学・博士課程	有
萬年一剛	神奈川県立温泉地学研究所・主任研究員	無
石井憲介	気象研究所・研究官	無
新堀敏基	気象研究所・主任研究官	無
藤田英輔	防災科学研究所・主任研究員	無
竹尾明子	北海道大学・研究員	有
下坪善浩	気象庁 VAAC	無
宝田晋治	産業総合技術研究所・主任研究員	無
中島悠貴	北海道大学・修士課程	有
桜井利幸	気象庁 VAAC	無
井田喜明	アドバンスソフト・研究顧問	無
木下紀正	鹿児島大学・研究協力員	有
志水宏行	地震研究所・修士課程	無
小園誠史	東北大学・助教	無
前野深	地震研究所・助教	無
清杉孝司	地震研究所・研究員	無
林勇太	気象庁火山課	無

阿保真	首都大学・教授	無
土山博昭	気象庁	無
林洋介	気象庁	無
古市幹人	海洋研究開発機構・主任研究員	無
湊明彦	アドバンスソフト・研究顧問	無
小屋口剛博	地震研究所・教授	無

#### 5. 研究集会の概要 (200-400 字)

火山噴火現象のダイナミクス・素過程に関する研究の推進と、研究成果の防災利用の情報交換を目的に、研究集会を開催した。ここ数年発展が目覚ましい火山噴煙挙動と火山灰輸送に関する数値モデルの紹介や観測事例が中心的話題となった。特に、新燃岳 2011 年噴火やインドネシア・ケルート 2014 年噴火、御嶽山 2014 年噴火は各種の高精度観測がされている事例で、それらの観測データを用いたモデル検証の可能性について活発な議論がされた。ケルート噴火に関しては、GNSS 観測や広帯域地震観測によって捉えられた噴火に伴う大気擾乱について最新の情報が交換された。さらに、マグマ溜まり内の沈積過程を対象にした新たな混相流モデル、火砕流ダイナミクスを対象にした浅水波モデル、マグマ貫入過程を対象にした個別要素法モデルなど、幅広い講演が行われた。本研究集会と連携し、日本地球惑星科学連合大会で同名セッションを来年度も引き続き開催することを決定している。

#### 6. 延べ参加人数、研究集会の概要 (100 字程度) についてご記入ください (共同利用・共同研究拠点実施報告書に掲載します)

延べ参加人数 29名

火山噴火現象のダイナミクス・素過程に関する研究集会を開催し、火山噴火に伴う火山灰輸送のモデル化と最新観測事例に関する情報交換、開発したモデルの検証可能性と防災利用について議論した。